マナビィ通信

第19回 全国生涯学習フェスティバル
まなびピア岡山 2007

Vol. 6 キラリ☆輝くマナビスト③

今月の「キラリ☆輝くマナビスト」は、**阿波籐細工教室のみなさん**です。代表の**東村美佐子さん**と会員の**髙矢嘉次さん**にお話をうかがいました。

教室を始めたきっかけは？

髙矢さん 最初は高齢者生きがい対策教室ということで始まりました。木工や土ひねり、手芸などもありましたが、籐細工が一番長く続いています。

東村さん もう30年近くになりますね。

現在の活動状況は？

東村さん 月に1、2回程度午前9時から午後4時ごろまで、15人が参加しています。ふるさと祭りや物産展にも籐細工を出品し、たくさんの人に喜ばれています。

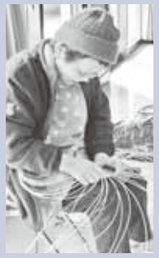
髙矢さん 手先を動かすことで脳が活性化し健康面にもたいへん良いですよ。

活動を長く続けていく上で、大切にしていることは？

東村さん「人の和」を第一に活動しています。和気あいあいと活動することが人の和、地域の和につながると思います。みんなで作品を作っていくと気持ちも温かくなってきますよ。テーマを決めて作りますが、一人ひとりの顔が違うように作品にもその人の個性が出ます。

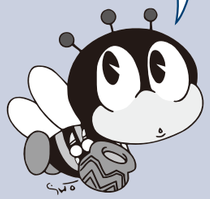
今後の抱負は？

東村さん 現在、津山婦人青年の家にも月1回、指導に出掛けています。そこで活動している人たちと阿波で活動している人たちとで、籐細工の活動を通した交流を考えています。



一昨年に阿波村も津山市になりましたが、こういった交流から、各地域の市民としての一体感も出てくるのではと思います。

大好きな活動から、人の和・地域の和が広がっていくってすてきですね。
それではみなさん、次号のキラリ☆輝くマナビストをお楽しみに！



問い合わせ先 社会教育課 ☎32 - 2118

津山っ子はぐくみQ&A

今月のポイント ―青少年の朝ごはん―

Q 昔は当たり前のように食べていた朝ごはん。最近では食べていない子どもたちが増えているように聞いていますが、実態はどうなのでしょうか？

A 成長期にある青少年にとって、調和の取れた食事、十分な休養、睡眠はとても大切です。子どもたちの食生活の乱れが指摘される中、県が調査した「青少年の意識等に関する調査（平成17年度）」によると、朝ごはんを毎日食べているのは小学生で79%、中学生で75%、高校生で72%となっています。一方で、まったく食べない、またはあまり食べない青少年が1割前後います。

朝ごはんは、気力、体力、学力の源です。そして、早寝・早起き・朝ごはんの習慣は、津山っ子が笑顔で元気に成長していくために欠かせないものです。それぞれの家庭で、子どもの生活リズムをもう一度考えてみましょう。そして、しっかり朝ごはんを食べて、身体も脳も絶好調の状態で送り出したいものですね！

青少年育成センター
市役所東庁舎3階 ☎31-8650（さあいざ、はろーこー）
家族のこと、友だちのこと、青少年の悩みごと、ご相談ください

おしえて エコロジー

ごみの出し方についてのお願い!!

昨年の夏ごろから、指定ごみ袋の形が少し変わったことを知っていますか？

袋の上部に持ち手が付いています。壁などに掛けることもでき、持ち運びがしやすくなったと評判ですが、反面、最近ごみステーションに、結び方が不十分な状態で出されているケースが見られます。

収集のときに中身がこぼれてしまうので、必ず上部を十字にしっかり結んで、ごみステーションに出してください。

十字にしっかりと結んでください

環境奉行「エコ呂爺（ろじい）」

問い合わせ先 環境事業課 ☎22 - 8255

なるほど くらしの豆知識

悪質商法被害に遭わないために！

消費生活モニターになって勉強しませんか

平成18年度消費生活モニターの声

悪質商法をはじめとして、問題が多い現代社会において、1年間いろいろ勉強させていただきました。後を絶たない悪質商法に対しても、勇気を持って“ノー”とはっきり伝える、うまい話に乗らない、家族や友人に相談することを心掛けています。

冨倉美登利さん（阿波）

あの手、この手で善良な市民をだます悪質商法や詐欺商法に遭わないために「消費生活モニター」になって「賢い消費者」をめざしていっしょに学びましょう。

重松勝江さん（中北下）

平成19年度消費生活モニター募集中!!

応募資格	市内在住で、消費者問題に関心のある20歳以上の人
募集人員	20人
任期	委嘱日から平成20年3月31日まで
活動内容	①研修会、講座、現地見学などへの出席 ②消費者行政に関する要望などを随時提出 ③消費生活に関する調査など
応募方法	環境生活課（市役所1階1番窓口）に備え付けの申込書に必要事項を記入して提出
締め切り	3月30日（金）
応募・問い合わせ先	環境生活課 ☎32 - 2056